

双生児の育児支援を考える

(分担研究：多胎児に対するケアのあり方に関する研究)

研究協力者：大岸 弘子

要約：双生児育児の現状と育児上の悩みを知り、双生児育児を支援する上で何が必要なのかを検討するために、アンケート調査を行った。双生児育児は母親にとって、精神的、肉体的負担が大きく、医療、福祉等々、あらゆる面から支援を強める必要があると考えられた。

見出し語：双生児、双生児育児、双生児育児支援、双子のための育児教室

はじめに

尼崎市東保健所では双生児育児支援として、1991年より双生児とその家族を対象に「双子のための育児教室」を年5～6回シリーズで開催している。

そのなかで、双生児育児指導と育児支援を考えるため、教室参加者及び管内の訪問ケースに対してアンケート調査を行い、双生児育児を行う上での問題点を検討した。

「目的」

次のような事柄を目的として調査した。

1. 双生児育児の現状を知る。
2. 双生児育児上の悩みを知る。
3. 双生児育児支援を考える

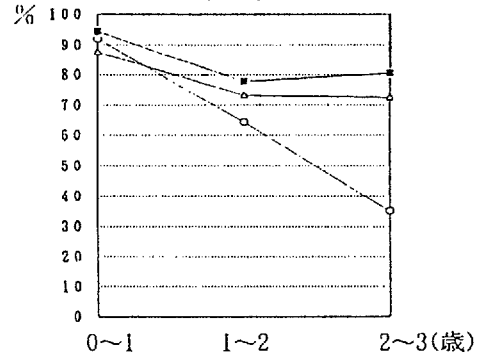
「対象と方法」

1991年5月から1993年11月までの「双子のための育児教室」参加者及び管内の多胎児家庭訪問実施者に対して、アンケート調査を行い82件(90.1%)の回答を得た。

「結果」

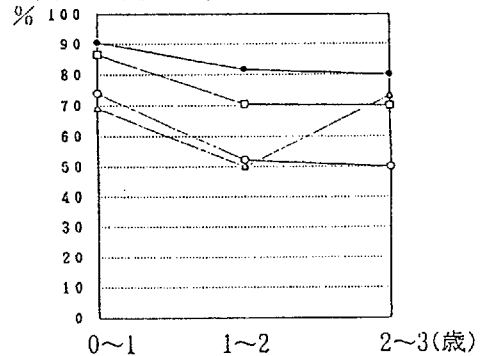
1. 双生児総数82組の年齢別回答数は0～1歳未満30件、1～2歳未満6件、2～3歳45件、不明1件。家族構成は核家族72件(87.8%)、三世帯家族10件(12.2%)であった。
2. 双胎児妊娠とわかって不安を感じた人は58人(72.5%)であった。
3. 「育児の協力者あり」の人は68人(82.9%)で、夫・父・母・義父・義母等、身内の者を協力者とする人がほとんどで、「育児協力者なし」は5人、未記入9人であった。
4. 育児面の問題を図1～図3でみると、母親の睡眠不足は双生児が大きくなるにしたがって解消しているが、双生児を連れての外出は双生児の年齢に関係なく困難さがうかがわれた。
5. 育児に手をやいた時期を図4でみると、「一方がいないと不安がる」「よくけんかをする」「いたづらに手をやく」などは、乳児期よりも2歳、3歳になるにしたがって増加していた。
6. 経済的負担が大きい時期を図5からみると、双生児の年齢に関係なく経済的負担の大きさがうかがわれた。
7. 母親の育児上の悩みは、「双子の気持ちが分らない」「二人だけ仲良く遊び他児とは遊びたがらない」「一人が障害を持つ双子への接し方がよく分からない」「二人を平等に扱おうとしてもできない。どうしたらいいか。」「夕方になると、どっと疲れがでてイライラしてしまう。」「言うことを聞かないとき、ものさしを持って追いかける自分が嫌になる。叩いたりせず対処できないか。」等であった。
8. 「双子のための育児教室」参加者の声を感想文から見ると、
 - (1) 育児教室以外にも交流がもてる機会がほしい。
 - (2) 大きくなってからのことも取り上げてほしい。
 - (3) 育児教室でよい友達ができた。座談会や教室後の雑談も参考になった。なによりも雰囲気がとても暖かかったのが嬉しい。

図1 母親の疲労の多い時期



■ 身体的疲労
△ 精神的疲労
○ 睡眠不足

図2 母親の苦勞の多い時期



● 忙しくて自分の時間が持てない
□ 家事が充分にできない
○ 日常の買い物にいけない
△ 双子以外の子の世話ができない

- (4) こども対象の遊ぶ機会をつくってほしい。
 - (5) 洋服やおもちゃの交換会も開いてほしい。
 - (6) ツインママの友人ができ、今まで以上にずっと希望がもてるようになったのが嬉しい。
 - (7) ツインマザークラブがあれば入会したい。
 - (8) 他の保健所でも開催してほしい。
 - (9) 忙しいなか参加したかいがあり、明日からリフレッシュして頑張れる。
- 等々であった。

「考察」

調査結果や育児教室参加者の声などから、母親の育児不安や負担を軽減するために、今後は

- (1) 妊娠、出産、新生児期、乳幼児期、各時期への保健指導の充実。
- (2) 育児支援システムの検討。
- (3) 医療機関と保健所の連携強化。
- (4) 双生児育児の情報提供の強化。
- (5) 家事支援、経済的支援に対する検討。
- (6) ツインマザーズクラブ等の活動にたいして、行政の支援と連携強化等が必要であると考えられた。

図3 保育上で苦勞の多い時期

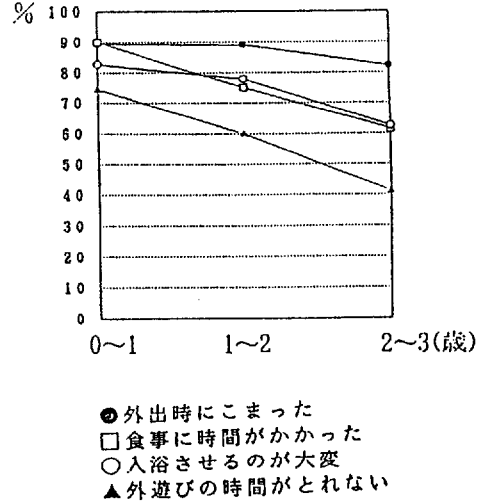
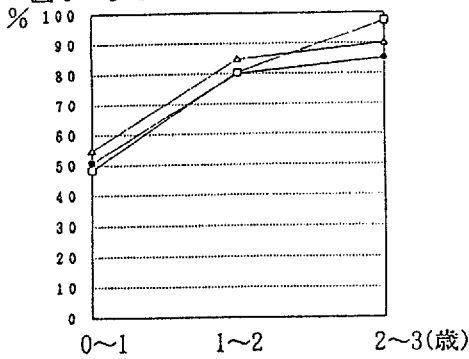
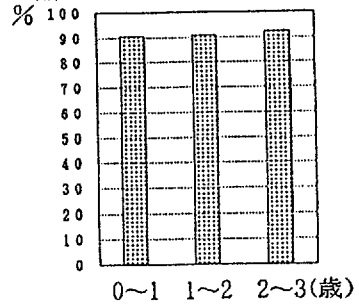


図4 手をやいた時期



- 一方がいないと不安がる
- よくけんかする
- △いたずらに手をやく。

図5 経済的負担が大きい時期





検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:双生児育児の現状と育児上の悩みを知り、双生児育児を支援する上で何が必要なのかを検討するために、アンケート調査を行った。双生児育児は母親にとって、精神的、肉体的負担が大きく、医療、福祉等々、あらゆる面から支援を強める必要があると考えられた。